

## 大分県と「大分県版カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を 締結しました

当社は、大分県（県知事 佐藤樹一郎）および九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員 西山勝）との3者による「大分県版カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しました。当社が自治体と包括連携協定を締結するのはこれが初めてとなります。

本協定は、大分県が「第6期地球温暖化対策実行計画」に掲げる、環境と経済・社会の調和を図りながら県民・企業と一体となって取り組む方針と、九電グループ経営ビジョン2035に掲げる重点戦略「カーボンマイナスへの挑戦」および「地域共創による価値創造と成長」が合致することから、大分県版カーボンニュートラルの実現を目指すうえでの重要な枠組みとして、締結するものです。

九電グループはこれまで、大分県の貴重な地域資源を活用して、県内に太陽光やバイオマスなど各種、再生可能エネルギーを既に導入済みです。なかでも地熱発電事業については、国内初の事業用地熱発電所として営業運転開始した大岳発電所、国内最大級の地熱発電所である八丁原発電所などが運転しています。また、湯坪地熱発電所（九重町）など県内に開発調査中の地点もあります。

本協定において当社は、再エネの更なる導入拡大を期待されています。これからも地域の皆さまのご理解を得ながら、事業性を踏まえつつ再エネ開発を進めるとともに、企業さまのニーズに沿った再エネ電力の供給を行う、「再エネの地産地消モデル」を通じて、大分県への企業誘致、産業振興に貢献してまいります。

### 1. 協定締結日

2026年4月23日

### 2. 連携事項（大項目のみ）

- （1）省エネ・省CO2の一層の推進
- （2）再生可能エネルギーの更なる導入拡大
- （3）脱炭素などを目的とした県民運動「グリーンアップおおいた」の推進

■当日の様子



(左から) 九州電力 西山社長、大分県 佐藤知事、当社社長 三根

以 上